

リエゾン・パートナーズ、 業務拡大で介護事業者の資金調達・M&Aの支援も

リエゾン・パートナーズ(株) <http://www.liaison-partners.com/index.html>



代表取締役 CEO 秋元二郎氏

有料老人ホームに特化したファンドマネジメント事業を展開するリエゾン・パートナーズ(株)(東京都港区)が、介護事業者に対するサポート業務の範囲を拡大している。同社はこれまで首都圏、関西圏で11件の有料老人ホームを対象としたファンド組成・運営に携わり、アセットマネジメント事業に取り組んできたが、このほど有料老人ホームをはじめとする介護事業者のファイナンシャルアドバイザリー事業にも進出。従来の蓄積を活かし、介護事業者に対する資金調達面(流動化など)での支援やアドバイス業務のほか、有料老人ホームや運営企業の事業承継など、M&A支援にも注力していく。

すでに7月には、横浜市港南区に立地する介護付有料老人ホーム(定員60人)の事業承継について同社がアレンジ・支援。(株)アズパートナーズ(東京都千代田区)が、入居者・従業員も引き継いだうえで「アズハイム横浜上大岡」として再スタートを切った。事業承継に関しては「この1、2年、当社への相談件数は増えつつある」(同社代表取締役CEO 秋元二郎氏)とし、そうした市場環境も同社の新たな展開を後押ししたようだ。

秋元氏は、「創業の理念は、資本市場と介護事業者の橋渡し役となること。金融テクノロジーに不安を抱える介護事業者は多いとみており、当社が貢献できる余地はあるはず」としている。